

本来ならば1学期の終了をむかえる頃となりました。で、終了は8月4日(火)となり、1学期の園生活はまだまだ続きます。

夏休みも8月5日(水)からはじまり、第2学期の始業の日は8月18日(火)となります。

とても短い夏休みになりますが、今から有効になるよう計画を立ててください。

■年中児の鍵盤ハーモニカと年長児のハーモニカ、4月と5月は動画配信で少しだけ基本に角虫れましたが、6月に入って本格的に取組みしました。

年中児は指の使いか、5本の指を音階別に使いわけるのに苦労して来ましたが、順調に出来つつあってどうも曲への挑戦かな?

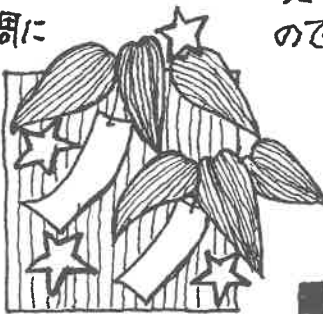
年長児たちのハーモニカ! これは決して易い楽器ではありません。開園当初からの年長児たちの課題です。

ドから上のドまで8個の音階があって、吹く音と吸う音が途中にあって、小さいコンピューターをフル回転しなければドから上のドまで行けないし、下のドまでの一往復は苦労の連続です。

正確に一往復できたら曲への挑戦になります。

12月の生活発表会でのベトッパンの「歓びの唄」の合奏を聴いて我が子の育ちを知ることと思います。応援してあげてください。

一人ひとりに「聞く力」が育ってきて、やる気と言う「意欲」も育ってきたから挑戦するのです。これから年中児はパルーンや器楽合奏など、年長児は大縄とびなど沢山の課題に挑戦します。見守ってください。



■石狩浜・お泊り会・ちびっ子祭りなど夏の行事が中止です。

で、年長児たちの思い出づくりの一環として「夏のおたのしみ会」として、7月22日の日午後3時から8時まで、幼稚園で年長児たちと全スタッフと一緒に夕食をとりながら楽しいひとときを過ごします♡

(心の育ちシリーズ)

子ども達の居場所

今でも女性の多くは結婚して幸せな家庭を作ろうと思えば料理をがんばろうと思ひ、子どもが生まれれば自分で作ったもので育てたいと思ひます。

誰にも教わらぬのに、ご飯を作ろうと思うところに人間にとっての食事という行為の意味の深さを感じます。

男の人は学べば分かりますが、このような考えには到りません。と言っているのは料理研究家の土井善晴さんです。さらに続けます。

「場の研究所」の科学者の清水博先生にたずねたら「家庭料理は子どもの居場所を作っている」と教えられたそうです。居場所とは無条件でそこに居られる(守られる)「安心の場」です。

クラブ活動や塾から帰ってきた子どもが着替えながら台所で料理する音を聞いていい匂いがしてきた時、どれだけホッと安心している事でしょう。そして、無意識の内に心の中に蓄積されるのが安心感です。

子どもは成長するとその「安心」を土台にして「自信」を持って「勇気」を育て、大人になって「責任」を身に付け、「愛情」を注ぐ立場になるのです。

京都のお寺に「救われるということは場所をたまるということです」と書かれていました。意味の深い教えです。

料理は上手下手ではありません。ご飯を炊いて具沢山の味噌汁でおいしい。きれいに整えて食べさせてあげてください。

たかが料理ですが、そこに居場所があり安心できる場所があるんですね。